

温泉施設整備

問

「ゆとり」代替施設の整備は

答

実現性調査踏まえ整備判断へ



質問者の動画が視聴できます。

やぎ ふみと
八木 史 議員

つぶやき

入浴施設実現の調査費が予算計上され、よかった。



『関係機関と協議し
慎重判断』

サケ増殖事業
追良瀬さけます増殖
センターの今後は



問 八木議員
「ゆとり」代替施設の検討状況は、浜町商店街活性化に向けた整備方針の具体化と加速を。
答 町長
入浴施設整備の実現性を調査し、その結果を踏まえて判断する方針である。



▲さけます増殖センター

問 八木議員
老朽化施設の維持方針と、サケ回帰率低下を踏まえた増殖事業の継続か他魚種転換かの判断が必要と思われるが、町長の考えは。
答 町長
サケ捕獲数の激減により放流事業は厳しい状況にあるが、資源維持や関係機関との連携の観点から町単独での判断は困難であり、継続可否は慎重に協議する必要がある。そのうえで、将来的に継続が困難となった場合には他魚種への転換や施設の在り方の見直しも視野に入れ、黒潮大蛇行終息後の回帰状況を見極めながら適切な時期に判断する。



問 八木議員
空き家調査の徹底は
『実施について検討する』
答 町長
過去に実態調査を実施し、危険空家の除却や利活用促進の施策を進めてきたが、最新の空き家状況が不明確であるため、今後は悉皆調査の実施について検討していく考えである。

問 八木議員
空き家対策の実効性向上には現状把握が不可欠である。業者委託による悉皆調査を実施すべきでは。

※悉皆調査…調査対象となる母集団のすべて（1つ残らず）を調べる手法であり、「全数調査」とも呼ばれる。



豪雪対策
今冬の豪雪対応と今後の除排雪体制は

『事業者との情報共有を図り、除排雪体制の再構築を進める』

問 八木議員

豪雪対策本部設置後の対応で明らかとなった課題、災害救助法による雪下ろし支援の基準と実績、今後の除排雪体制の見直し・強化策は。

答 町長

町道除雪では事業者の人手不足やオペレーター交替に伴い一部で対応が不十分となった課題があった。災害救助法による住宅雪下ろし支援は相談54件のうち、町業者委託8件、職員対応15件で実施。今後は直営人員確保や優先箇所・作業範囲の見直し、機械整備などにより除排雪体制の強化を図る。



ドローン活用
町職員によるドローン活用チームの設置は

『常設は困難であり、組織横断で機動的に対応する』

問 八木議員

町の課題解決に向け、町職員による組織的な運用体制を整備し予算・人材・体制を整備すべきでは。

答 町長

町職員によるドローン活用の専門チームを常設することは、人的余裕や活用機会の限定、現行業務での横断的活用や専門業者委託の有用性などの理由により困難であると考えられる。そのため、現状では必要に応じて組織横断で機動的に対応し、各業務に活用していく考えである。

議会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に関する予算や条例の提案、議員の質問・質疑、採決などが行われます。

次回は、9月上旬に定例会を開く予定ですので、皆さんの傍聴をお待ちしております。

